

2021年度（第3期）事業報告

自 2021年1月1日
至 2021年12月31日

1. 会員数

(2021年12月31日現在)

団体会員 (14社)

個人会員 (39名)

2. 会議

(1) 総会：1回（書面総会）

日時：2021年7月6日（火）

場所：書面総会

議題 第1号議案 2020年度（第2期）事業報告承認の件
第2号議案 2020年度（第2期）収支決算報告承認の件
第3号議案 監査報告書に関する件（第3期）
第4号議案 2021年度（第3期）事業計画（案）承認の件
第5号議案 2021年度（第3期）予算（案）承認の件

(2) 運営委員会

開催できませんでした。

3. 事業概要

(1) 過年度のシンガポールからの招聘者との交流会

過年度の招聘事業で北海道を訪問した当時高校生の皆さんとの交流会（オンライン）を開催し、継続的な交流関係の構築を図る予定でしたが、開催できませんでした。

(2) 「シンガポール日本語スピーチコンテスト2021」への参加について

「シンガポール日本語スピーチコンテスト2021」については、新型コロナウイルス（COVID-19）の世界的な感染状況を考慮されてweb開催となりました。2021年7月11日（日）シンガポールの日本人会オーデトリウムでスピーチコンテストが行われ、入賞者が決まりました。北海道シンガポール協会からも役員ほかweb参加しております。

【審査結果】

高校の部

第1位 Ms Karen Lee Chen Xi 「コロナなんか俺がぶっ潰してやるよ」

第2位 Ms Tan Khin Teng, Victoria 「アニメが好きというのは悪いことなのか。」

第3位 Ms Christabel Lee 「日本語にいたずらされてはじめてわかったこと」



高校の部優勝 Ms Karen Lee Chen Xi



高校の部2位 Ms Tan Khin Teng, Victoria



高校の部3位 Ms Christabel Lee

(3) シンガポール日本語スピーチコンテスト2021入賞者招聘事業

入賞者招聘事業については、COVID19の感染拡大により両国の出入国の状況が厳しく、日本への入国が難しくなったため実施できなかった。シンガポール日本人会と調整し、該当者を翌年（2022年）に持ち越し、2022年入賞者とともに北海道へ招聘することも含めて、次年度に日本人会と調整することとなりました。

(4) ホームページの充実

ホームページの内容の充実と、FACEBOOK等などのSNSによる情報発信についても検討しておりますが、作業は途中段階であり、事務局体制の拡大を図りながら、次年度以降に内容の充実を図る予定です。

(5) 札幌圏アドベンチャートラベル戦略会議への参加

（一社）シーニックバイウェイ支援センターが事務局となり実施している「札幌圏アドベンチャートラベル戦略会議」に参加し、シンガポールへのwebプロモーション等に協力した。

本事業は、（一社）シーニックバイウェイ支援センター、北海道シンガポール友好協会、北海道エコモビリティ研究会、さっぽろサイクルラボ、一般社団法人国立公園支笏湖運営協議会、THE HOKKAIDO WILDSで構成する「札幌圏アドベンチャートラベル戦略会議」が、札幌圏に滞在するインバウンド観光客をターゲットとして、札幌近郊での日帰り及び1泊2日程度のアドベンチャートラベルのメニュー開発、ガイド養成、海外プロモーションを行う事業で、北海道観光振興機構の助成を受けて実施した。

北海道シンガポール友好協会は、おもにシンガポールへの海外プロモーションを中心に参加しており、本年度（事業年度としては最終年）は、シンガポールのサイクリストやアウトドア愛好家を対象としたオンラインプロモーションの開催に協力を行った。

■ 広報・プロモーション

① オンライン開催での海外向けプロモーション

■ 海外向けプロモーション資料の作成

アクティビティの一つである「サイクリング」を主に、歴史・文化、芸術、食、人との交流などを組み合わせた、札幌に滞在中に楽しめる「1 Dayアドベンチャー・プログラム」を紹介、広報プロモーションを行った。

シンガポールでサイクリングガイドをしており、世界各国及び日本・北海道へも毎年ツアーで来遊しているシンガポール・サイクリング・ツアー（SCT）のロー・テック・ウィー氏とのディスカッションのほか、シンガポール在住の現地のサイクリングガイドやサイクリングに興味のある方々とし、ディスカッションを行い、紹介プログラムへの評価やその他の趣向（興味）などについて伺った。

▼対象 シンガポール在住のサイクリングや
アクティビティ体験に興味のある方 25名程度

▼内容（構成）

- ①挨拶/趣意説明
- ②札幌近郊で楽しめる「サイクリング」を主としたプログラムの概要紹介
- スライドによるツアープログラムの紹介（夏秋/冬春 ソフト編+ハード編）
- 動画によるツアープログラムの紹介（ツアー専用動画）
- ③ディスカッション
テーマ：withコロナでの「アクティビティ×サイクルツーリズム」について
・北海道への旅企画案「サイクリング」について
・ツアープログラム内容への感想、意見など
・withコロナの旅の在り方と楽しみ方
（質疑応答（挙手＆チャットで書き込み等）による質疑応答）

▼手法 オンライン（Zoom）

▼プロモーション資料の作成



本事業
について

スケジュール

体験プログラムの
企画・実施

広報・
プロモーション

人材育成
研修資料
の作成

今後に向けて

■ 広報・プロモーション

① オンライン開催での海外向けプロモーション

■ 海外向けプロモーションの開催

シンガポールを対象とした、海外向けのオンラインプロモーションを開催した。

▼実施 2022年2月12日（土）14:00~15:30（休憩時間13:00~）

▼出演者 ロー・テック・ウィー氏（シンガポール在住）

▼通訳 クレグ・マレー氏（ノーススター・ランゲージ）

▼参加者 18名（シンガポール在住）

▼参加者からはチャットに質問も入られており、プログラム中に質問し、その場で
返答して対応できたため、チャットの活用はとても便利で有効であった。



■ 参加者及び出演者（ロー氏）へのヒアリング

- Q. 旅行ができるようになったら日本のどこへ行きたいか
- 京都や四国への回答多く、次いで北海道であった。
- Q. 北海道とすれば、どこをサイクリング+旅してみたいか
- 道東、知床が多く、次いで美瑛、道北（釧路）であった。
→美瑛のセンチュリーライドなどにしてみたいとのこと。
- まだ行ったことがないので、全てに興味がある。
- Q. 今日のプログラムでどれに興味があるか。
- ファットバイクツアーへの興味や行きたいといった声が多かった。
- アイスフェスティバルや食にも興味がある。

▼その他：参加者からの質問

- ・自分の自転車を運んでいくほうが良いのか？荷物を軽くしたい。
- ・宿や施設などの受け入れ態勢はどうか？（自転車保管など）
- ・一人で自転車で行く場合、どのコースがよいか。案内など。
- ・紹介してくれた複数のツアーをさらに組み合わせることは可能か。

■ ロー氏より

- ・どのプログラムも面白いが、シンガポールに雪が降らないため、雪には多くの人が興味があり、ファットバイクのツアーは人気が高いと思う。
- ・冬のサイクリングの他、ここでできない違ったActivityを取り入れたり、アイスフェスティバルなどと組み合わせるなどがよい。
- ・日本（北海道）に旅行が可能となった場合は、本プログラムの冬のファットバイクツアーの商品販売を行って、お客様を連れていきたい。
- ・サイクリングの趣向は皆さん違うので、全ての人々がロングコースを好むとも限らず、こういった様々なアクティビティを合わせた日帰りツアーもよいと思う。
- ・本日のセッションは素晴らしい、自身もとても楽しむことができた。自分で声をかけた参加者からも、「有益な情報だった」と好評だった。

本事業
について

スケジュール

体験プログラムの
企画・実施

広報・
プロモーション

人材育成
研修資料
の作成

今後に向けて